

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-238937(P2010-238937A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-85722(P2009-85722)

【国際特許分類】

H 01 L 51/50 (2006.01)

C 09 K 11/06 (2006.01)

C 07 D 209/86 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/22 D

H 05 B 33/14 B

C 09 K 11/06 6 4 5

C 07 D 209/86

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月30日(2011.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

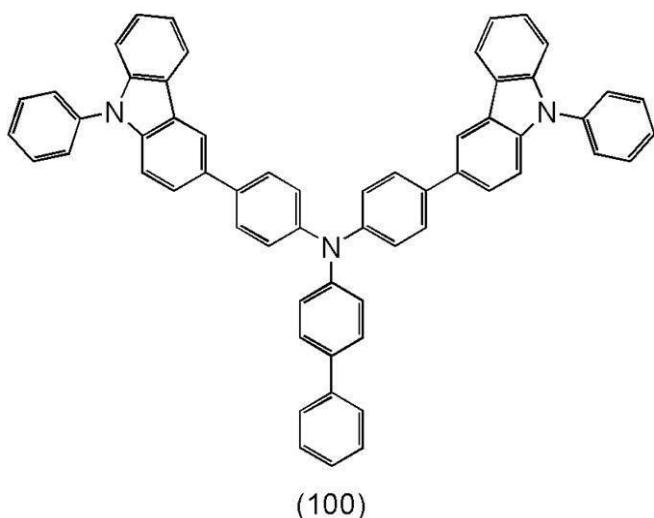
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一对の電極間に、発光層と、前記発光層と接するホール輸送層とを有し、  
前記ホール輸送層は、構造式(100)で表されるカルバゾール誘導体を含むことを特徴とする発光素子。

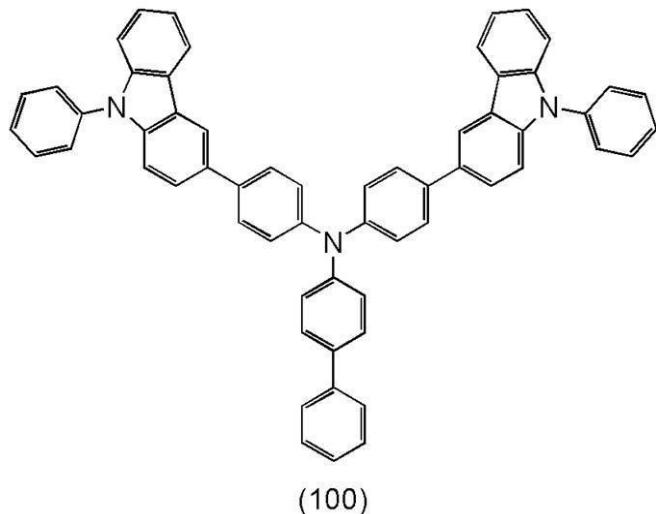
【化1】



【請求項2】

一对の電極間に、発光層と、前記発光層と接するホール輸送層とを有し、  
前記ホール輸送層は、構造式(100)で表されるカルバゾール誘導体を含み、  
前記発光層の発光材料として芳香族アミン化合物が含まれていることを特徴とする発光素子。

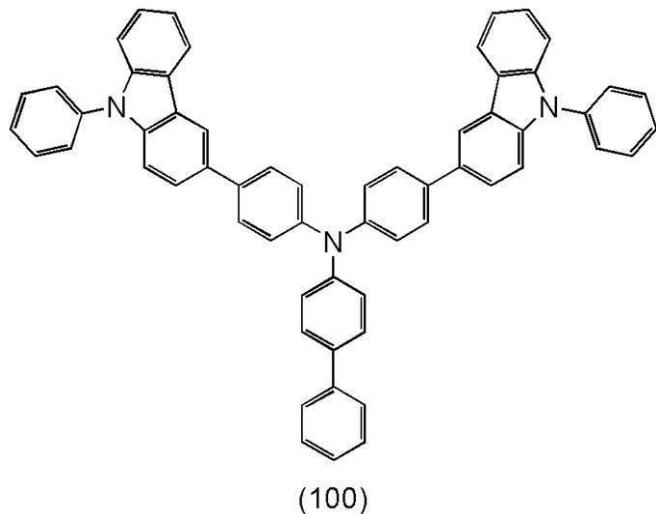
## 【化2】



## 【請求項3】

一対の電極間に、発光層と、前記発光層と接するホール輸送層とを有し、  
 前記ホール輸送層は、構造式(100)で表されるカルバゾール誘導体を含み、  
 前記発光層にホスト材料及びゲスト材料の複数の有機化合物が含まれており、  
 前記ゲスト材料が芳香族アミン化合物であることを特徴とする発光素子。

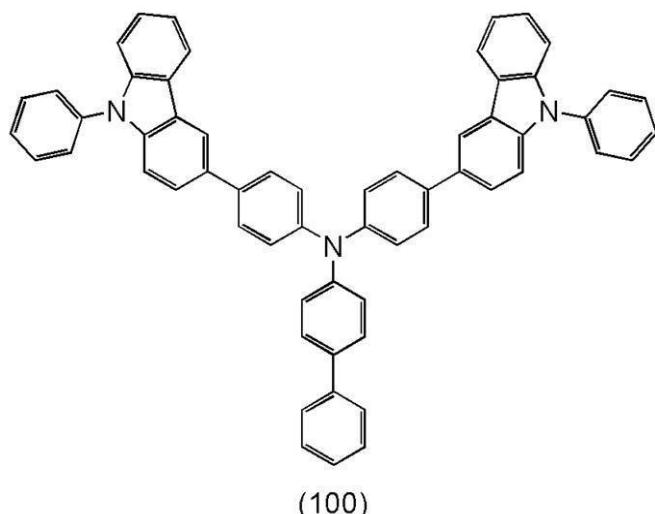
## 【化3】



## 【請求項4】

一対の電極間に、発光層と、前記発光層と接するホール輸送層とを有し、  
 前記ホール輸送層は、構造式(100)で表されるカルバゾール誘導体を含み、  
 前記発光層にホスト材料及びゲスト材料の複数の有機化合物が含まれており、  
 前記ゲスト材料が芳香族アミン化合物であり、  
 前記ホスト材料がアントラセン誘導体であることを特徴とする発光素子。

## 【化4】



## 【請求項5】

請求項2乃至4のいずれか一項において、前記芳香族アミン化合物は、9-アリール-9H-カルバゾール-3-イル基を有することを特徴とする発光素子。

## 【請求項6】

請求項3又は4において、前記ホスト材料は、アントラセン骨格とカルバゾリル骨格とを有することを特徴とする発光素子。

## 【請求項7】

請求項1乃至6のいずれか一項に記載の発光素子を備えた発光装置。

## 【請求項8】

請求項7に記載の発光装置を表示部に備えた電子機器。

## 【請求項9】

請求項7に記載の発光装置を備えた照明装置。